

## トキ分散飼育検討対象地の取組の概要 ～ 出雲市 ～

### 1. トキとの関わり

#### (1) 過去のトキの生息状況など

出雲地方では、大正期までトキが宍道湖に飛来していたという記録がある。

(参考) 改訂しまねレッドデータブック (2004 島根県)

トキ；絶滅

##### 【選定理由】

島根県内にも、過去においてトキが生息していたが、昭和初期に絶滅してしまった。

##### 【県内での生息地域・生息環境】

昭和の初期から中ごろには、隠岐諸島全域に多数生息していたが、狩猟圧などにより急激に減少した。最後の確認は 1937 年の西ノ島美田地区であるが、1939 年の聞き取り調査では、まだ 4～6 羽が生息していたとの記録が残っており、絶滅は 1945 年と考えられる。

##### 【存続を脅かした原因】

人口増加や社会の変化に伴うトキの生息環境（採餌地、営巣地など）の消失、狩猟圧、農薬汚染によるエサの減少など。

#### (2) トキ保護の取り組み

- 平成 3 年 ・ 出雲市（合併前）と中国陝西省漢中地区（昇格前）が「友好交流関係」を締結。
- 平成 8 年 ・ 漢中地区が漢中市に昇格。これに伴い「友好都市」協定を締結。
- 平成 11 年 ・ 出雲市及び市民有志が洋県トキ救護センターの「トキ」の認養を開始。  
(出雲市 2 羽、市民有志 8 羽 合計 10 羽 認養費 1 万元/羽・年)
- 平成 13 年 ・ 出雲市市制施行 60 周年記念式典出席のため来雲した漢中市長に対し、トキ提供を要請。
- 平成 15 年 ・ 陝西省政府及び漢中市と出雲市でトキの輸出入について協議。SARS 問題等から困難な状況となる。
- 平成 17 年 ・ NPO 法人いずも朱鷺 21 設立。  
・ 漢中トキ保護センター講演会開催。  
・ 「出雲市トキ保護増殖事業基本計画策定委員会」設置。
- 平成 18 年 ・ 「出雲市トキ保護増殖事業基本計画」報告。  
・ トキ近似種飼育施設竣工、トキ近縁種飼育開始。
- 平成 19 年 ・ 近縁種による飼育繁殖技術訓練に力を入れる。  
・ アフリカクロトキ 2 羽の人工孵化に成功。  
・ 市民への普及啓発（トキと花のフェスティバル）などを展開。
- 平成 20 年 ・ 近縁種による飼育繁殖技術をさらに高める訓練に力を入れる。  
・ アフリカクロトキ 8 羽の孵化に成功。（人工孵化 6 羽、自然孵化 2 羽）  
・ 出雲市トキ分散飼育センターの計画設計に向け、専門家にアドバイスを受ける。

## 2. トキ保護増殖事業の検討

### (1) 事業計画等の検討状況

○「21世紀出雲のグランドデザイン基本計画」(平成17年12月)

第4章 21世紀環境先進都市の創造「野生動植物との共生と自然環境保護」

#### (2) トキ保護増殖事業

「国が計画しているトキの分散飼育について、その指定に向けた取組みを進め、トキの保護増殖に貢献するとともに、トキをシンボルとして人と自然が共生できる地域づくりを推進します。」

○「出雲市トキ保護増殖事業基本計画」策定(平成18年2月16日)

### (2) 概要

#### ①事業の目標

世界で唯一、野生のトキが生息している中国陝西省漢中市と「友好都市」協定を締結しており、この両市の友好関係を基盤として、大正期まではトキが飛来していた出雲市においてトキの保護増殖事業を実施することにより、今なお絶滅の危機から脱したとは言えない状況にあるトキに対する国際的な取り組みに貢献するとともに、トキをシンボルとして出雲市の自然環境を守り、安全で安心な生活環境を保ち「人とトキをはじめとする野生生物が共生できる地域環境」を市民とともにつくることを目指す。

また、国内で飼育されている個体の分散飼育が国において検討されていることから、国の「トキ保護増殖事業計画」に積極的に参画していくこととし、トキの安定的存続に貢献するため、この計画を策定した。

#### ②事業の場所・施設計画

○出雲市トキ分散飼育センター(仮称)

○予定地：島根県出雲市西新町二丁目1039番地

○敷地面積：約5,000㎡

○施設計画

- ・大飼育ケージ 1
- ・飼育(繁殖)ケージ(中) 3(間仕切りした場合6)
- ・育雛及び飼育ケージ(中) 3(間仕切りした場合6)
- ・育雛ケージ(小) 3
- ・検疫棟及び病棟 3
- ・管理棟(孵化・育雛・検卵室、調理室、事務室)
- ・倉庫
- ・作業ヤード
- ・駐車スペース

#### ③事業の実施方法

○管理運営；出雲市

○スタッフ；所長1(異動あり)

飼育員兼獣医師3~4(専門 異動なし)

事務1(異動あり)

※また、国内トキ飼育専門機関、中国陝西トキ救護センター、島根県家畜保健衛生所、地元NPO等の協力を得つつ事業を実施する方針。

### 3. トキ近縁種等の飼育・繁殖実績（又は飼育・繁殖予定）等

#### （1）トキ近縁種飼育体制

○飼育施設；出雲市トキ近似種飼育施設（出雲市西新町）

○飼育体制；トキ飼育員2名、トキ飼育補助員1名、獣医師1名

※なお、トキ飼育補助員と獣医師はNPO法人いずも朱鷺21と委託契約

#### （2）主な経過

平成16年度 飼育員採用。上野動物園及び多摩動物公園でトキ近縁種の飼育研修。

平成18年度 飼育補助員採用。トキ近似種飼育施設 竣工。

4月 アフリカクロトキ5羽（上野動物園から譲与）の飼育を開始。

7月 上野動物園からアフリカクロトキの卵を譲受。人工孵化の技術訓練開始。

11月 ショウジョウトキ4羽の飼育開始。

平成19年度 NPOと、飼育員補助及び獣医による観察・診療業務の委託契約を締結

4月 アフリカクロトキで人工孵化に成功。（恩賜上野動物園からの譲受卵）

5月 アフリカクロトキで、2度目の人工孵化に成功。（同上）

8月 主任飼育員が陝西トキ救護飼育センターで研修。

平成20年度 出雲市で飼育しているアフリカクロトキが繁殖を始める。

6月 4羽の人工孵化に成功。

7月 2羽の自然孵化（親鳥抱卵による）に成功。

8月 恩賜上野動物園 小宮園長、多摩動物公園 杉田飼育員を招聘、孵卵・育雛技術の指導を受ける。

10月 2羽の人工孵化に成功。

#### （3）近縁種飼育状況（トキ近似種飼育施設 140㎡、うちケージ部108㎡）

・アフリカクロトキ 15羽（6才1羽、4才1羽、3才3羽、1才2羽、0才8羽）

・ショウジョウトキ 4羽（4才4羽）

#### （4）繁殖状況等

・平成19年 アフリカクロトキ 人工孵化2羽、巣立ち2羽

・平成20年 アフリカクロトキ 人工孵化6羽、巣立ち4羽、育雛中2羽

アフリカクロトキ 自然孵化2羽、巣立ち2羽

### 4. トキ保護に関する地域住民、NPO等の取組などの状況

○NPO法人 いずも朱鷺21（平成16年度設立、会員数90名）

出雲市神門地区の住民を中心に発足。環境にやさしいまちづくりのシンボルとして「トキ」を掲げ、出雲市が飼育しているトキ近似種への無農薬野菜の提供や、飼育員補助、獣医師の派遣など、近似種飼育に積極的に協力。

小・中学校や一般の方々の視察や研修の対応なども行ない、地域住民だけでなく、市民・県民にトキを主とする希少野生動植物保護の重要性を普及啓発。

平成19年度に開催した「トキと花のフェスティバル」では主軸となって各種企画を運営。市民・県民にトキ保護の重要性を大きくアピールした。

## 5. その他野生生物の保護、生態系、生物多様性の保全等に関する地域の取組の状況

○ラムサール条約登録湿地：宍道湖

○自然と文化を育む水辺空間づくり：神西湖（野鳥観察舎、バイオガーデン）

○ウミネコ集団繁殖地：経島（ふみしま）国の天然記念物に指定

○オスジカ捕獲禁止区域：弥山山地

島根県と協力しながらニホンジカとの共生の道を模索

○環境保全型農業の推進

神西湖流域（神門地区、神西地区、湖陵地区）をモデル地域に選定。

土づくり、施肥、防除などの各段階において、農薬・化学肥料の使用状況など現況の把握、それらを低減できる農法の実証、普及方法の検討を進めている。